



「校長先生、中学生が本当にかっこいいよ！」
西岐波中学校の吹奏楽部の生徒の演奏する姿を間近で見て（聴いて）、目をきらきらさせながら数人の低学年の子どもがはずむように話しかけてきました。そこには強い「あこがれ」がありました。「よかったね、あんなお姉さん、お兄さんになろうね。」と返すと「うん！」と言って駆けていく子どもたちを見て心から嬉しく思うとともに、関わってくださるすべての皆様に深い感謝の念を覚えました。



従来とスタイルを変えて二度目の開催となった「西岐波わくわくまつり」でしたが、今年度も多くの保護者、地域の皆様方（中学生も含まます）のご参画を得てまことに価値あるものとなりました。学校をひとつの拠点として地域に「よかった」があふれること。そして私たちの「宝もの」である子どもたちを「地域総出」で育み慈しむこと。それこそが子どもたちの「ふるさとを愛る心」を育て、よりあたたかな「ふるさと西岐波」をつくることにつながると信じております。（校長 小松茂文）

令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について



令和元年4月18日（木）に6年生が実施した全国学力・学習状況調査の結果が届きましたので、ご報告させていただきます。教科、児童質問紙（生活面のアンケート）の結果からわかる本校の傾向、課題は以下の通りです。

	教科・質問紙の結果 ○よくできている点 △課題がある点
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○目的に応じて、本や文章全体を概観して読むことができます。 ○情報を相手に分かりやすく伝えるための工夫を捉えることができます。 ○目的に応じて、質問を工夫することができます。 △学年別漢字配当表に示されている漢字を書くことに課題があります。 △文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使うことに課題があります。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○台形の性質について理解しています。 ○棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取ることができます。 ○加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができます。 △示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算することに課題があります。 △減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することに課題があります。
生活習慣 学習環境 (質問紙より)	<ul style="list-style-type: none"> ○自分にはよいところがあると思う。 ○将来の夢や目標をもっている。 ○学校に行くのは楽しい。 △住んでいる地域の行事に参加できていない。

この結果のみで子どもたちの学力を判断することはできません。しかし、この調査では、グローバル・情報化社会を生きる現代の子どもに必要な力が問われています。予測不能な社会をよりよく生きていくためには、様々な情報や出来事を受け止め、主体的に判断しながら、社会をどう描くかを考え、他者と一緒に生き、課題を解決していく力が必要であると言われてしています。今回の調査結果を受けて、課題解決に向けた取組を日々の授業を中心に行っていきたいと考えています。めざす児童像である「傾聴・夢中・探求」をより一層意識し、基礎的・基本的事項の確実な習得を図りながら、思考・判断・表現力をさらに高めるための「対話的、主体的で深い学びあいのある」授業への改善に今後も努めて参ります。